

令和 6 年度 県産花きの列車を利用した新規輸送手段の検討

1 目的

近年の輸送コストの増大や需要の低迷により、一部輸送便が廃止され、また山梨県内で生産される花きの約 9 割は県外市場に出荷されており、既存のトラック便以外の輸送手段が必要となっている。

そこで、県外への新規輸送手段の確保に向け、J R 東日本の実施する列車による輸送サービス「はこビュン」による花きの消費地への輸送について調査を実施し、協議会において新規輸送手段としての検討を行った。

2 実施日

令和 7 年 1 月 2 9 日（水）

3 主催者

山梨県花き振興協議会

4 調査方法

（1）試験品目

クリスマスエリカおよびシクラメン（箱サイズ：3 辺合計 120 センチ以内）

（2）試験輸送経路

山梨園芸市場から池袋サンシャインシティまでの試験輸送を実施した。

（3）調査項目

輸送コスト、輸送後の花き品質、輸送中の温度・湿度についてトラック便と比較した。

5 結果

（1）輸送コスト

トラック便の輸送費は 51,700 円であり、はこビュンによる輸送費は 23,650 円であった。はこビュンによる輸送については、山梨園芸市場から池袋サンシャインシティ間のうち、甲府駅から新宿駅間を列車輸送し、山梨園芸市場からの集荷および池袋サンシャインシティへの配送はトラックで行った。

試験輸送の結果、甲府市から池袋まではこビュンで輸送する場合、箱サイズが 120 センチ以内であり、輸送する箱数が 30 箱までの場合は、トラック便よりも費用が抑えられることが確認できた。また、甲府駅から新宿駅間の輸送は 1 箱 1,500 円であったことから、駅までの持ち込みが可能であれば、より費用が抑えられる可能性がある。

(2) 輸送後の花き品質

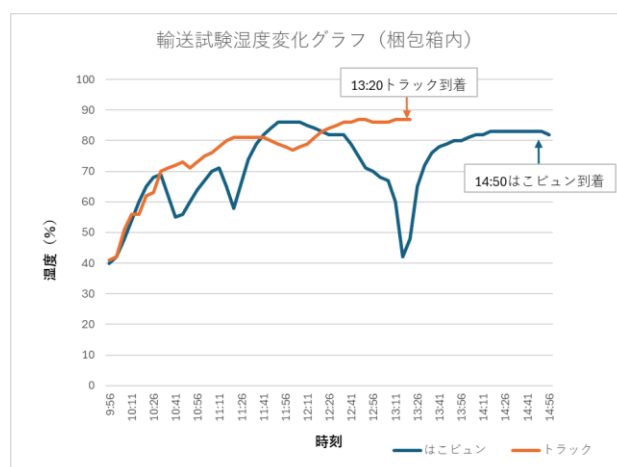
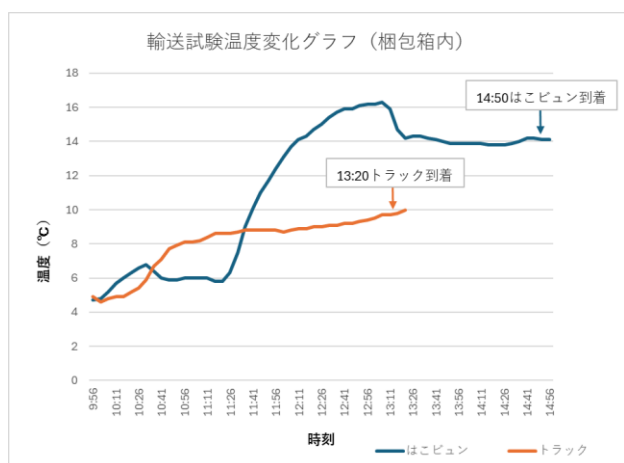
到着後の花きの品質については、いずれの品目も輸送前と同等であり、箱詰め・輸送による品質への影響は見られなかった。また、輸送後も品質が保たれているかを確認するため一定期間保管したところ、トラック便により輸送した花きと品質に差は見られなかった。

(3) 輸送中の温度・湿度

輸送中の温度については、トラック便では、到着までの温度変化が約4～10℃であるのに対し、はこビュンは、約4～16℃であった。また、湿度については、はこビュンでは、列車への積み込み、列車からの積み下ろし時に湿度が大きく変化していた。

はこビュンによる輸送は、トラック便と比較して輸送中の温度、湿度の変化が大きい結果となった。

今回は、はこビュンとトラック便で輸送した花きの品質に差は見られず、輸送による品質への影響はなかったことから、列車による輸送が可能であることが確認できた。しかし、品目や輸送時期によっては、温度、湿度の影響を受ける可能性があるため、列車による輸送では、品目や時期等を検討する必要があると考えられる。



クリスマスエリカ



シクラメン